

学生向け 盲ろう者理解・啓発の プログラム提供について (ご提案)



認定NPO法人

東京盲ろう者友の会

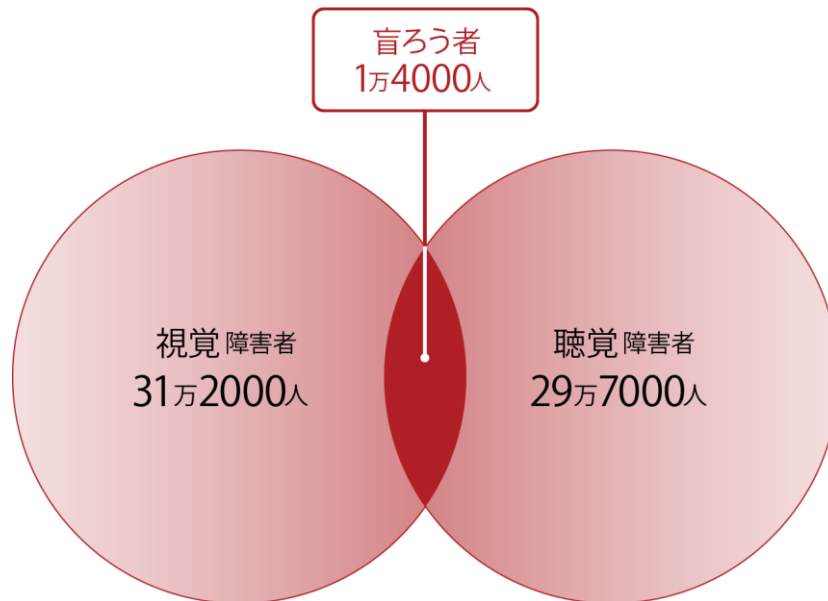


提案の主旨

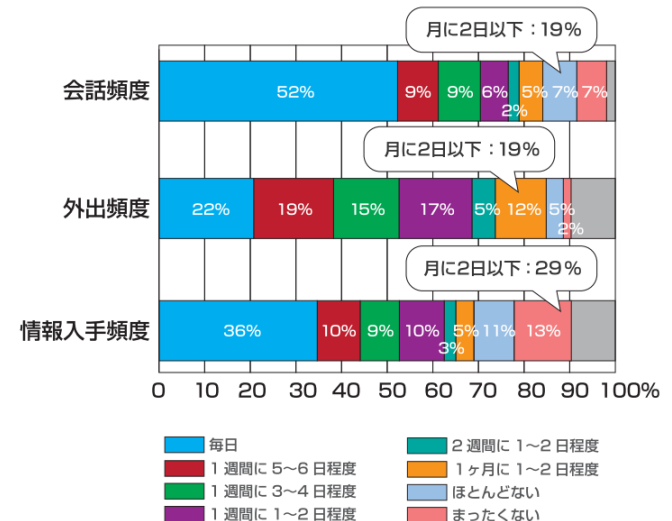
- 私たちは、視覚と聴覚の両方に障害のある「盲ろう者」を支援しているNPOです。
- 若い世代に、盲ろう者やその支援の存在を知っていただくことを望んでいます。
- 貴学と連携し、学生に対し、講義や公開講座、大学祭などの場で、盲ろうに関する「映画上映」「当事者の講演」「当事者とのコミュニケーション」など、盲ろう者の理解・啓発のためのプログラムを提供させていただけないでしょうか。
- 映画の上映料や講演料、講師料などの諸費用は、原則、すべて当会が負担します。
- 本プログラムは、令和7年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業の助成金により実施します。

盲ろう者とは

- ・盲ろう者とは、視覚と聴覚の両方に障害のある人のことです。コミュニケーションや情報入手、移動など、さまざまな活動・場面で困難が生じ、社会的に孤立している盲ろう者も少なくありません。
- ・盲ろう者の困難を解消するために、社会の成員、特に将来を担う若い世代の方ひとりひとりに「盲ろう」を知っていただく必要があると考えています。

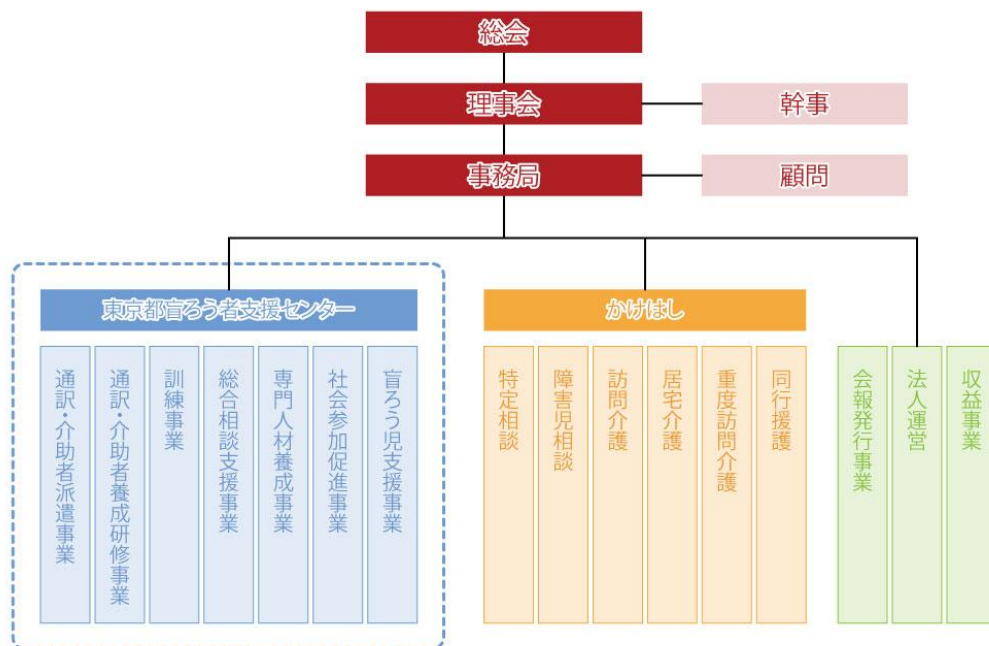


■盲ろう者(18歳以上65歳未満)の社会参加の頻度の状況(n=676)



東京盲ろう者友の会について

- ・ 盲ろう者の福島智（現・東大特任教授、当会顧問）の大学進学を支援する会から発展して、1991年に任意団体として設立。2001年、NPO法人格を取得。2008年、認定NPO法人の認定。
- ・ 東京都より、盲ろう者関係事業の委託・補助を受け、新宿区で「東京都盲ろう者支援センター」を運営。



プログラム内容

- 以下の内容を時間やご希望に応じて、組み合わせて提供します。

内容	形式	時間	担当	内容詳細
映画「桜色の風が咲く」	映画 上映	120分	—	小雪と田中偉登が母と息子を演じる人間ドラマ。9歳で失明し、18歳で聴力を失いながらも大学に進学。盲ろう者として初の大学教授になった福島智の実話が描かれた映画。
映画「もうろうをいきる」	映画 上映	90分	—	盲ろう者の日常に密着し、彼らの生活や周囲の人々との関わりを描いたドキュメンタリー。コミュニケーションを通じて、盲ろう者がどのように社会とつながり、共に生きているのかを静かに映し出す。
盲ろうについての概説	講義	30～90分	盲ろう者支援センター職員	盲ろう者の障害状況、生活実態、コミュニケーション方法、支援方法、福祉制度などについて解説。
盲ろう当事者の講演	講義	30～90分	盲ろう者	盲ろう者本人から、自分自身の成育歴や障害を負った経緯、心理状態の変遷、日常生活における困難、必要としている支援等について講話。
盲ろう疑似体験	演習	60～120分	盲ろう者支援センター職員	盲ろうの状態・心理面の共感的理解を図ることを目的に、視覚と聴覚の両方を遮断して行動するワークショップ。（最大人数40名）
コミュニケーション体験	実習	30～120分	盲ろう者	手書き文字、指点字、触手話等の盲ろう者特有のコミュニケーション方法の初歩を学び、実際に盲ろう当事者とコミュニケーションをとる。（最大人数40名）

映画上映



9歳で失明、18歳で聴力を失いながらも世界ではじめて盲ろう者の大学教授となった
東京大学先端科学技術研究センター教授 福島智の生い立ちを描いた実話

盲ろう疑似体験



コミュニケーション体験



当事者の講演、盲ろうの概説の演者（予定）

藤鹿 一之
（盲ろう者）

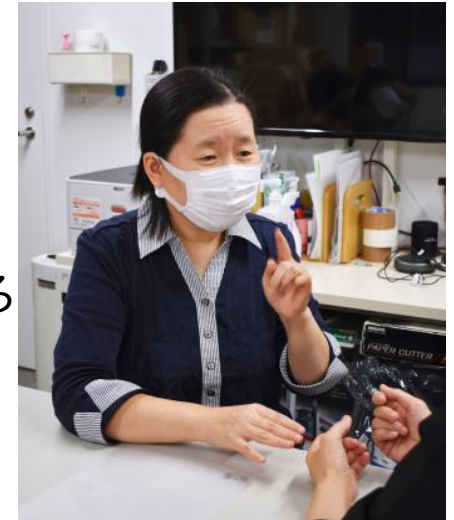
東京盲ろう者
友の会 理事長



村岡 美和
（盲ろう者）

東京盲ろう者
友の会 副理事長

（社福）全国盲ろう
者協会 職員



福島 智
（盲ろう者）

東京盲ろう者
友の会 顧問

東京大学
特任教授



前田 晃秀

東京都盲ろう者
支援センター長

群馬大学
客員准教授



（ご希望のプログラムや規模、演者都合などを総合して、演者を調整します）

<プログラムの組み合わせ例>

【パターン1】盲ろうについての知識を深め、共感的理解につなげる

盲ろうについての概説	50分
盲ろう疑似体験	70分
合計	120分

【パターン2】盲ろう者の様々なコミュニケーション方法を体験する

盲ろうについての概説	30分
当事者の講演	30分
コミュニケーション体験 (手書き文字・触手話・指点字)	120分
合計	180分

【パターン3】大人数に広く盲ろうを知っていただく

映画上映	120分
盲ろうについての概説	30分
当事者の講演	30分
合計	180分

- ・確保できる時間が短い場合、1つの内容のみでも対応可能です（「講義内でのゲスト講師として、当事者が講演する」など）。
- ・複数日に分けて実施することもできます。

実施概要

実施期間	2025年5月1日～2026年2月28日
連携対象機関	東京都近郊の大学・専門学校
実施場所（会場）	貴学構内の教室
費用負担	講師の講演料、盲ろう講師の支援者の派遣費用、映画の上映料などは、全額、当会が負担します。 会場借用費・設備利用費等は貴学にご負担いただければ幸いです。難しい場合、申込時にお伝えいただければ、当会で負担すること可能です。
貴学にお願いしたい役割	学生への広報・案内、当日の運営事務の一部（会場設営、視聴覚機材等の設定・操作など）
事業助成元	令和7年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業 ※申し込みが多く寄せられた場合、予算の都合でプログラムの提供をお断りさせていただく場合がございます。

連携により期待される効果

貴学

- 学生のダイバーシティ&インクルージョンの意識の向上
- 福祉・介護現場での支援技術の向上
(福祉・介護系の学生の場合)
- 教育機関としてのCSR活動の推進
など



当会

- 若年世代の「盲ろう」の理解者の増加
- 若年世代の「盲ろう者向け通訳・介助」等の盲ろう者関係者への興味・関心の喚起
など

「盲ろう者福祉の向上」
「盲ろう者の社会的孤立の解消」

お問い合わせ・申し込み方法

- お問い合わせ・お申し込みは、下記までお願いします。

認定NPO法人東京盲ろう者友の会（担当：飯島・小平）
TEL：03-6228-1282 E-mail：tokyo-db@tokyo-db.or.jp

- 提案についてご賛同いただき、本連携事業にお申し込みいただける場合は、電話やメールにて、下記内容をお伝えください。

1. 機関名称
2. ご担当者氏名、電話番号、メールアドレス
3. 希望実施時期・場所（例：「〇月ごろ・〇〇キャンパス」など）
4. 実施場面・規模（例：「公開講座・100名」「授業・20名」など）
5. 希望プログラム・時間（例：「映画上映と当事者の講演・150分」「パターン2・180分」など）

※お申し込み後、希望内容の変更や申し込みの取り消しも承ります。変更や取り消しに伴う貴学の不利益（違約金・キャンセル料等）は発生しません。